

Topics

第6回企業情報交換会 in いちのせき —技術・情報・連携・交流—

2月15日(水)午後1時からベリーノホテル一関を会場に「第6回企業情報交換会 in いちのせき」を開催し、岩手、宮城県内の企業53社、2団体にそれぞれ製品・技術などを展示、紹介いただきました。また、ホテル1階には岩手発の小型ハイブリッドカー「アクア」と電気自動車「PIUS」が展示されました。展示、講演会、交流会に延べ約710名の皆様のご参加があり、技術連携、技術・情報交流を図っていただきました。

講演では、東北芸術工科大学・大学院の植松豊行客員教授が「次代を拓く価値創造 “サステイナビリティ&イノベーション”」と題して、パナソニック(株)パナソニックデザイン社社長を務めた経験からも、次代のもの創り、価値、サステイナブルデザイン等について、国際的な視点から事例を交えてお話をいただきました。

講演会終了後は、植松先生にも交流会に参加していただき、多くの方々が交流を深められました。

来場者様へのアンケートの結果は、ほとんどの方々が情報交換、技術交流を目的に来場され、他社の技術、ニーズ・シーズを知ることや人的ネットワーク、交流ができた。など回答をいただきました。出展企業様からも全体的な感想として、だいたい満足、大変満足という回答をいただきました。次回開催に向けて、ご意見、ご感想を参考にしていきますので、次回もどうぞ、よろしくお願いいたします。



Topics

技術、製品を展示・紹介 ☆研究開発プラザ☆

このたび、当センター1階ホールに隣接する一関市研究開発プラザ利用企業様の製品等を展示いたしました。

プラザは、平成19年度から利用が始まり、新製品・新技術の研究開発を当センターと共同で実施の方や地域企業の技術の高度化、起業を目的として研究開発を実施している方々等が利用されております。

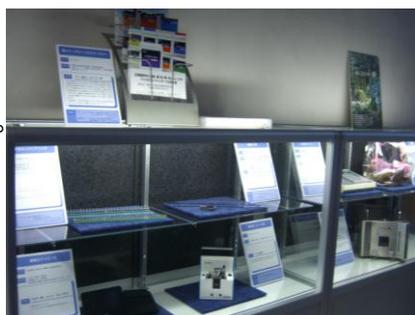
平成22年度には、4室が増築され、9室となり、現在は8社の企業様にご利用いただいております。

展示は、ガラスケースに各企業様の製品等と一緒にそれぞれの業種、業務内容、展示物の説明など情報をわかりやすく表示しております。

詳しい展示内容等については、裏面をご覧ください。

当センターへおいでの際は是非、お立ち寄りください。

お待ちしております。



『一関市研究開発プラザ』利用者募集

一関市では、産学官連携による地域産業の高度化、新事業分野への展開等を支援し、市の産業振興を目的に貸研究室を備えた『一関市研究開発プラザ』を設置し、指定管理者として(財)岩手県南技術研究センターが管理を行っております。

今回、貸研究室3室の利用者を募集いたします。

4月からの利用となります。

○研究室の面積及び使用料

①39.51㎡ 48,000円/月(実験室タイプ)

②26.46㎡ 32,000円/月(実験室タイプ)

③26.46㎡ 32,000円/月(事務室タイプ)

○申込期間：平成24年3月14日(水)～26日(月)(必着)

○申込方法：利用許可申請書に記載のうえ、当センターまで郵送又は持参してください。

※添付書類：事業計画書、住民票の写し又は登記事項証明書、直近3期分の決算書の写し(事業期間が3期に満たない場合は、当該事業期間に係る分)、経歴書(起業を行おうとする者)

○審査時期：3月下旬

○問合せ・申込先 岩手県南技術研究センター

TEL：0191-24-4688 FAX：0191-24-4689

第3水曜日は

イブニングの日

『第127回産学官イブニング研究交流会』へのご案内

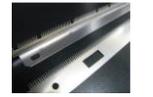
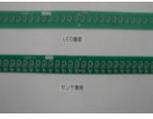
日時：4月18日(水)18時00分～

会場、内容等が詳細が決まりましたら、ホームページ等でお知らせいたします。

皆様お誘い合わせのうえ、おいでください。



展示一覧

企業名	所在地	業種	業務内容	展示物の品名	展示物の説明 (用途等)	TEL FAX MAIL URL
① 皓オーエンス・ジェビー	〒021-0901 岩手県一関市真柴字矢ノ目沢64-3	精密機器製造販売	環境関連商品開発販売	Super03 IWT0308型 オゾン発生装置 (特願2007-159191) 	新開発のマルチイン型電極を採用した低消費電力での小型、軽量の新型オゾン発生器。活用事例として、気中浮遊菌の殺菌、養殖水槽の殺菌、養殖場排水の脱色、排水中の油膜分解、ハウス栽培の野菜の根に酸素を供給することができます。	0191-48-3065 0191-48-3065 michinokuajisai@gmail.com
② 皓あじさい園 (みちのくあじさい加工組合)	〒021-0221 岩手県一関市舞川字中島19 みちのくあじさい加工組合	プリザートフラワー加工製造及び販売	あじさいの花の、薬品処理による加工製造・販売	あじさいアレンジメント品 	あじさいを薬品処理し生花の水分を専用の溶液と置換させ、長期保存できるように(ワザ)人工的に加工された花です。枯れない、生花に比べ軽いなどの点が注目され、デコブーケやテーブルワザなど装飾品、ギフトとして人気があります。	0191-28-3463 0191-28-3463 michinokuajisai@gmail.com
③ 皓大武・ルート工業	〒021-0902 岩手県一関市萩荘字金ヶ崎27	機械器具製造業	小型産業機器、医療機器、スポーツ機器の開発から製造を行っています。	ネジ供給機 	組立ライン等で使用される自動ネジ供給機。一台で複数のネジ径対応可能となっており、他にもロボット用、自動車組立ライン用など幅広く取りそろえています。	0191-24-3144 0191-24-3145 office@ohtake-root.co.jp
④ 皓達山工業	〒013-0031 茨城県常陸太田市岡田町2072-3	各種金型設計・製作、金属プレス加工	金型の設計・製作から、プレス加工、脱脂・洗浄まで社内一貫体制で行っています。板厚の薄い物(≒0.1)～厚い物(≒15)まで幅広く対応しており、被加工材も鉄・非鉄・ステンレスと銅種をえらばず加工しております。	①除電針(≒0.1mm)  ②カムピース(t=13mm) 	①複合機(コピー・FAX)に使用されており、用紙の除電(静電気除去)の他、感光体とよばれるドラムに交流放電をかける為に使用される。 ②自動車カムシャフトのカム部をプレス打ち抜きで加工したものの、(試作)	0294-33-7120 0294-33-7121 j-suzuki@tohyama-k.co.jp http://www.tohyama-k.co.jp
⑤ 皓佐々木エンジニアリング	〒021-0902 岩手県一関市萩荘字高梨南方114-4 一関市研究開発プラザ 研究室F	一般機械設計・製作・保守	・自動組立装置の設計・製作 ・画像検査装置の設計・製作 ・上記機械・検査機の保守・改良	スリットキヤッチ用LED基板及びセンサ基板 	家庭用トイレペーパーの製造時の穴・異物等検出用の基板です。	0191-24-2067 0191-24-2097 sasaki-kyts@seng.co.jp
⑥ 皓東北ワンピース	〒021-0902 岩手県一関市萩荘字高梨南方114-4 一関市研究開発プラザ 研究室G	設計開発業 ・電気設計 ・基板設計 ・実装要素技術支援	ものづくりに直結した設計開発 通信機器を中心とした設計開発 電気回路設計、基板設計、製造支援までの流れをトータルサポートします。	SONY製 nav-U NV-U75V 	持ち運び可能なナビシステムです。プラス、ワンセグTV&ハズフリー&音楽&動画と様々な用途でも使えます。	0191-32-1712 0191-32-1713 kinya.Oikawa@touhoku-op.com
⑦ 皓東邦テクノス	〒029-0132 岩手県一関市滝沢字鶴ヶ沢7-64	(経済産業省分類) 2699 19(大分類:製造業、中分類:その他の製造業(その他の生産用機械器具))	産業用機械、省力化機械	フッ素イオンメータ 	・専用の試薬キットにより、蒸留・濃縮の手間を掛けずに、フッ化物イオン濃度0.1ppmの測定が可能です。 ・塩素イオン(Cl-)などの妨害(イオンの干渉)が少なく、イオン電極法と比べ、測定値の信頼性が高いのが特徴です。 ・検水を測定ビンに採取し、反応試薬(錠剤)を入れるだけで、後は、計器が自動的に測定結果を表示します。 ・一試料の測定が僅か3分で終了します。 ・経済産業省地域新エネルギー研究開発事業により開発・製品化した測定装置です。(特許取得済み)	0191-21-8022 0191-21-8023 koichisato@tohotchnos.co.jp http://www.tohotchnos.co.jp/
⑧ AKJグローバルテクノロジー皓	本社: 〒260-0013 千葉県千葉市中央区4-5-1 Qibell14 研究開発センター: 〒021-0902 一関市萩荘字高梨南方114-4 一関市研究開発プラザ 研究室I	製造業	①医学研究用試薬の開発と製造販売 ②臨床検査試薬の開発 ③新規バイオマーカーの研究開発 ④化学分析用試薬キットの開発と製造販売 ⑤化学分析コンサルティング	AIハレル、ダミー製品、フライヤー等 	弊社主力商品の「メタロアッセイ」は血液、尿、組織、培養細胞などの対象試料中のミネラル、微量元素(亜鉛、鉄、銅、ガリウム、カルシウム、マグネシウム)を分析するための定量キット製品である。医療分野の研究用に使用されることを企図しており、本キットを用いることで、広く普及している分析機器であるマイクロリーダーや分光光度計により簡単に測定できる。微量元素研究用キットとしては世界唯一のラインナップ数であり、測定試料ごとにプロトコルをカスタマイズ、各種試料への細かい対応も持っている。キット製品としてのみならず、きめ細かい情報提供サービスを一体化させた新たなソリューション製品として全国で活用されている。また姉妹製品として、栄養・生体代謝物のアッセイキット、環境・工業用の元素を分析できるメタロアッセイキットを含めた全20種類のアイテムをラインナップしている。	043-227-6767(本社) 0191-48-4884(研究開発センター) 043-227-6748 http://ak-j.jp